

資料PDF 2026体験版

皆さんの 困った！をサポートします

質問が多い事項については、随時追加していきます

**体験版のためページ数を減らし
画像は原則非公開としています**



テキストでは伝えきれないものを、この資料PDFでみんなにリアルタイムでレクチャーする。
また、みんなから質問があったなかで、大切なものも随時アップしていく。

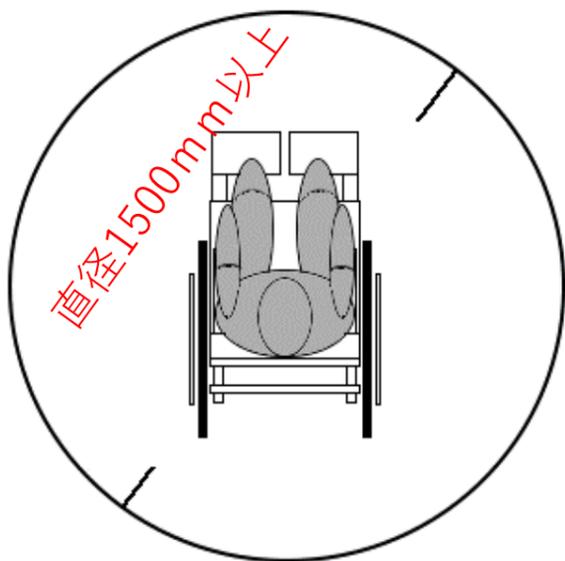
困ったとき・迷ったときはこの資料PDFを見ていただければ、たいていは解決するはずである。

まず初めは、最低限必要な知識から見ていただこう。

エスキスに必要な最低限の知識

平面図の作図イメージ

赤のラインで切断したもの（原則床から1200～1500mm）を真上から見たのが平面図である。



車いす利用のスペース

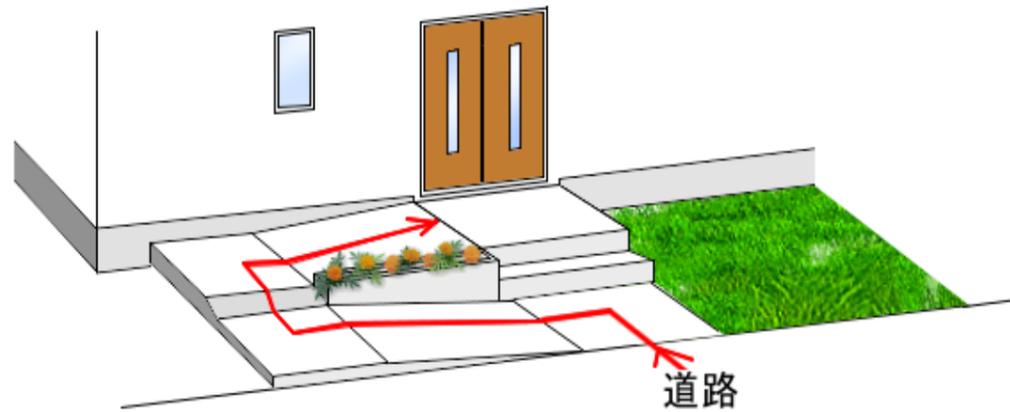
車いすを360度回転させるためには、直径1500mm以上の円状スペースが必要と覚える。

具体例として、よく出題される「車いす利用を想定して廊下幅員を計画する」という場合、廊下幅は有効1500mm以上で計画する。木造・RCいずれも4マス以上の廊下幅員が必要という意味である。

スロープ設置のイメージ

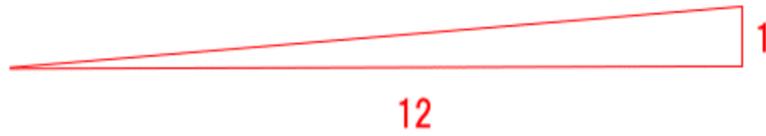
道路から直接接続するのではなく、図のように「コの字」で設置するのが好ましい。

作図上、勾配に対して正確なスロープの長さを描かなければならない。適当にスロープ長さを描くと減点対象となる。



高さ350mmに上がる勾配1/12スロープの長さ

$$350 \times 12 \div 1 = 4200$$



長さは4200mmが必要

浴室グレーチングの設置

試験では在来浴室を想定（ユニットバスではない）しているので、グレーチングを設けるほうが試験では有利である。

在来浴室とする理由は、2階浴室など試験要求に対応できるように、設置の技術的制限があるユニットバスは避ける。

2階にユニットバス設置の場合、2FLから下方300~400mm配管等の空間が必要と出来ない。

オーバーフロー
出入口に排水
ング) を設ける

非公開

平面図での表現

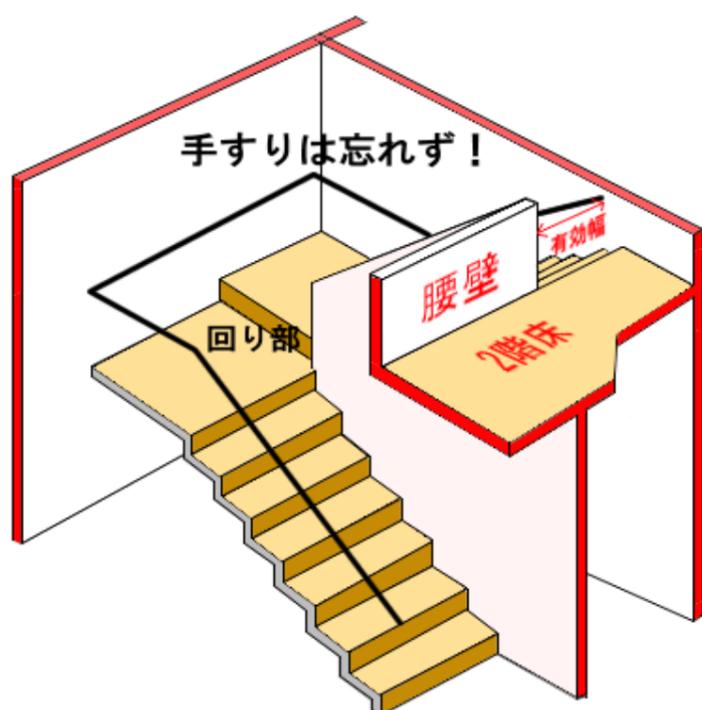


階段の計画（令23～27条）

* 単位はcm

階段の種類		階段・踊り場の幅	蹴上	踏面	踊場位置
(1)	小学校の児童用	140以上	16以下	26以上	高さ3m以内ごと
(2)	中学校・高等学校・中等教育学校の生徒用	140以上	18以下	26以上	
	劇場・映画館・公会堂・集会場等の客用 物販店舗で床面積の合計が1,500㎡を超える客用				
(3)	直上階の居室の床面積の合計が200㎡を超える地上階のもの 居室の床面積の合計が100㎡を超える地階、地下工作物内のもの	120以上	20以下	24以上	高さ4m以内ごと
(4)	(1) から (3) までに揚げる階段以外のもの	75以上	22以下	21以上	
(5)	住宅（共同住宅の共用の階段を除く）	75以上	23以下	15以上	
(6)	屋外階段	避難用の直通階段 (令120・121条)	90以上	蹴上・踏面・踊場の位置は上記1～5の数値による	
		その他の階段	60以上		
① 回り階段・螺旋階段の踏面寸法は、踏面の狭いほうの端から30cmの位置において測る。					
② 階段および踊り場の幅は、設ける手すり（及び高さ50cm以下の安全設備）の出10cmを限度とし、ないものとみなして算定する。					
③ 昇降機機械室用階段・物見塔用階段、その他特殊の用途に専用する階段には適用しない。					
④ 直階段の踊り場は、踏幅120cm以上とする。					

* 過去に出題された課題では「住宅は上表5」、「非住宅は4」で計画。R5出題「保育所」は上表（1）に該当しない。



階段の概要

手摺設置など法令順守を注意する。階段部分のイメージをしっかり把握し平面図を作図しよう。

昨今、蹴上・ふみ面・幅員の数値指定があり、対応できるように注意。（基本学習の通り）

最低限知っておきたい法令の知識

セットバック（道路後退）

道路中心から2m（指定による）後退したラインが建築可能敷地ライン



角地の駐車場出入口制限

法による道路の場合は7m（指定による）の範囲。個人通路など法によらない場合は制限なし。

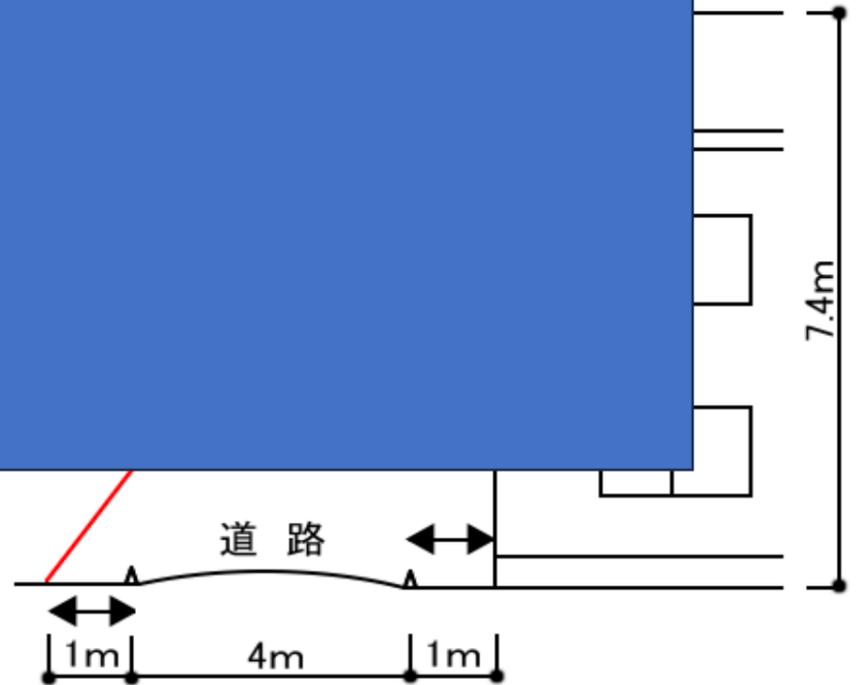
非公開

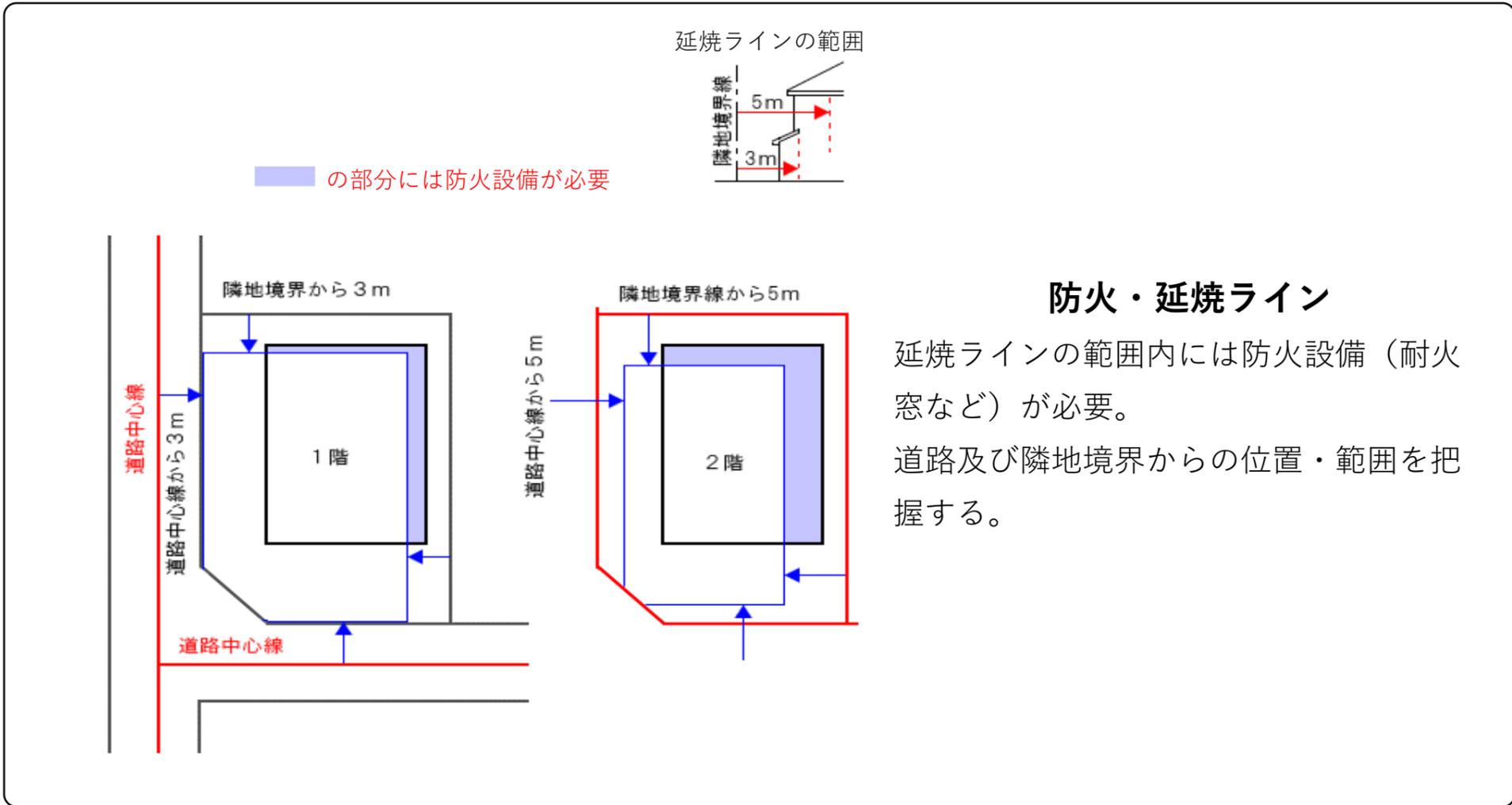
南側が恒
は最低3

斜線制

南側が自己所

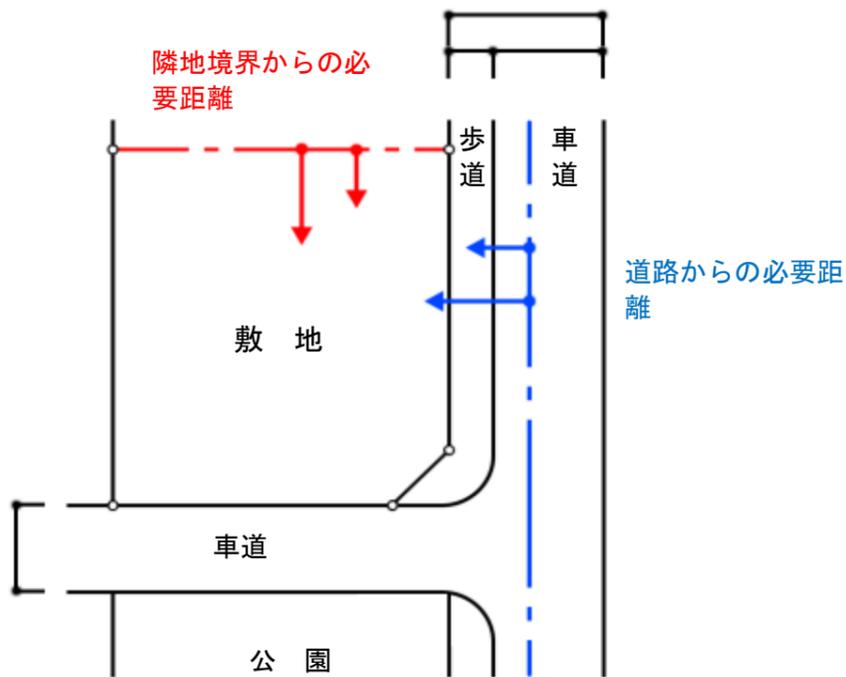
ただし、公園・駐車場などの空き地はいつ建物が建築されるかは不明なので問題文に注意。





南側道路を挟んで
防火上有効な公園があった場合、南側は延焼ライン**不要**。

*南側は道路中心線からの延焼ラインはいらない。



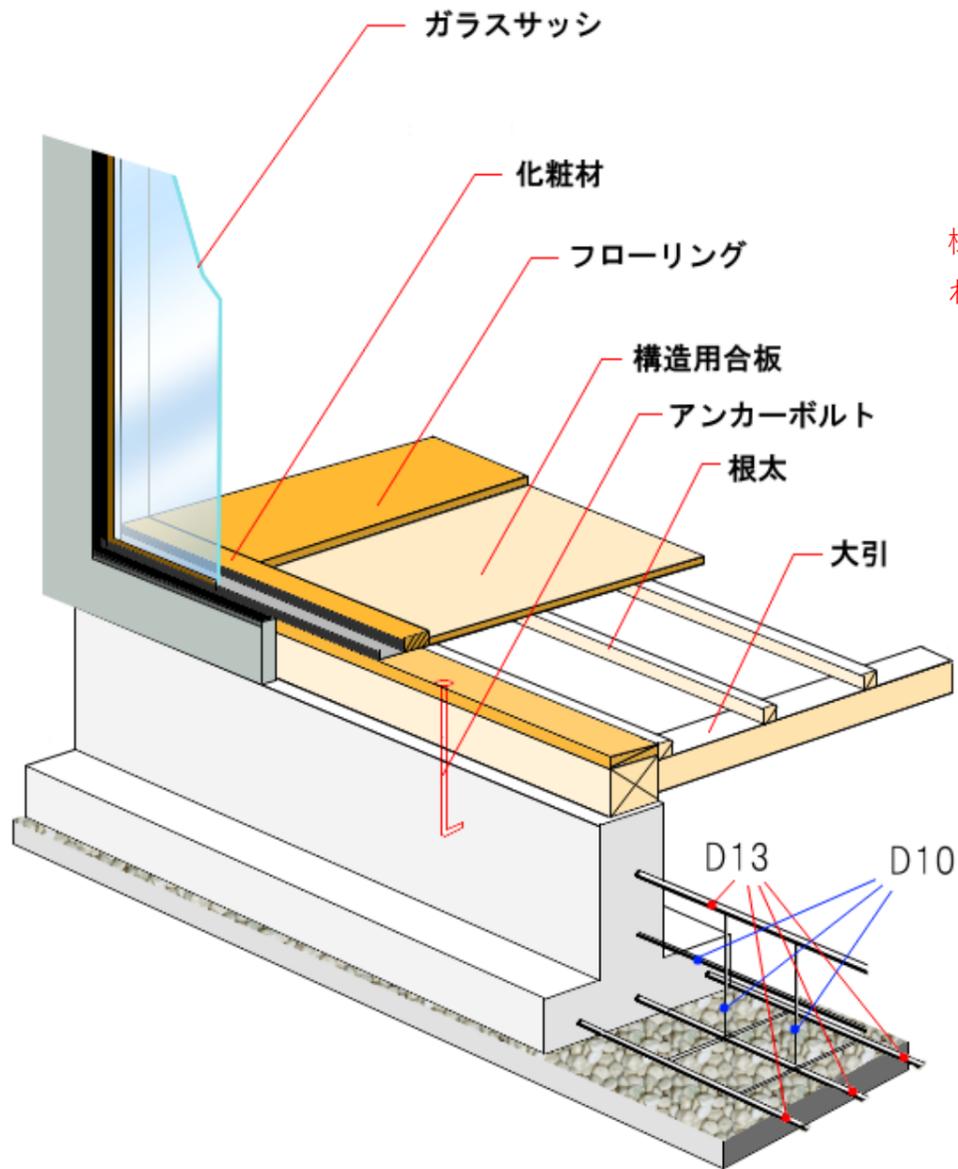
知らないと対応できない構造の知識

乾式外壁 湿式・乾式に大別される。(湿式は基本学習の通り)



屋根先端部分

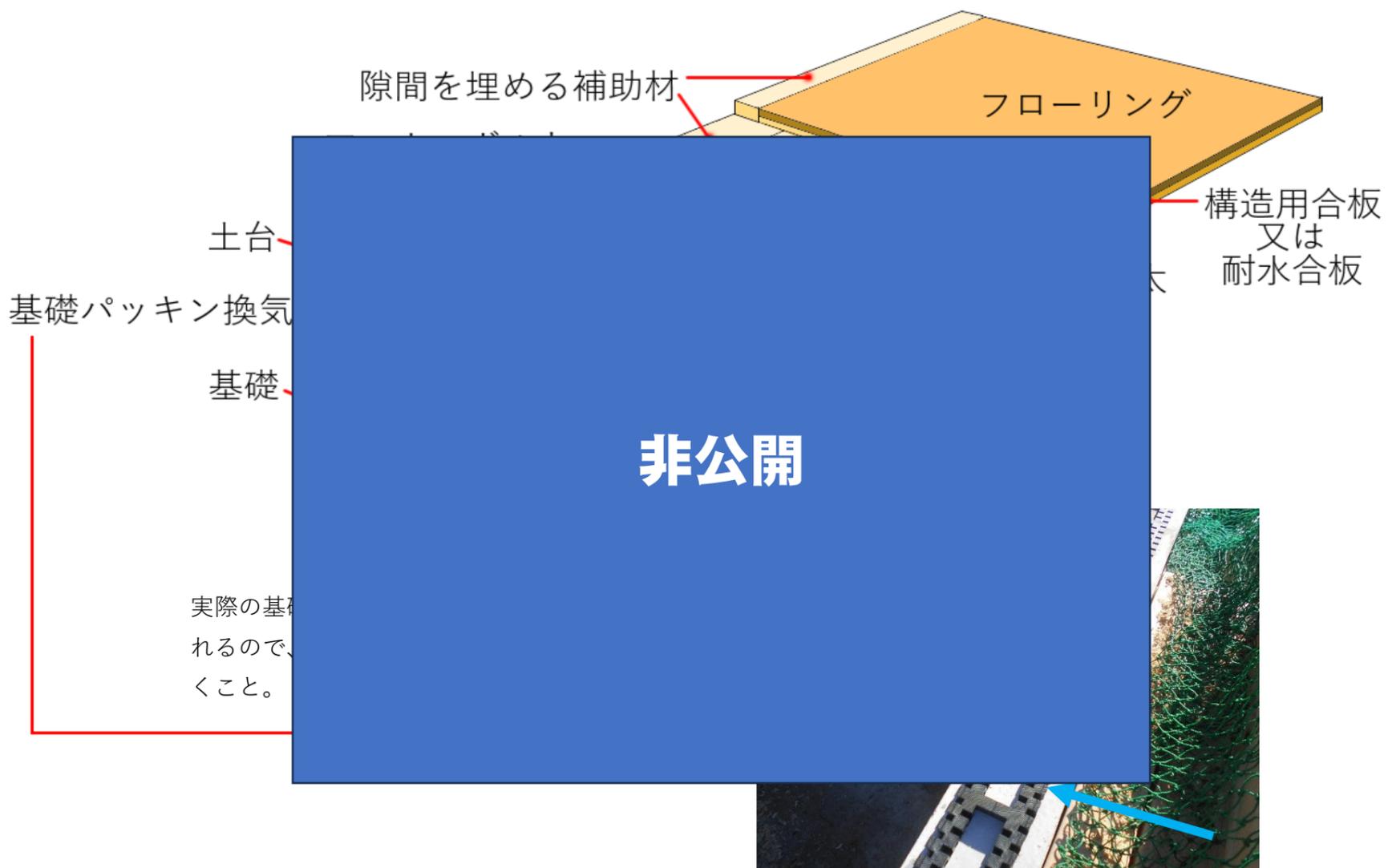




1階基礎周辺

様々な施工方法があるので、少し描き方が変わっても問題ない。

鉄筋は200ピッチ以内の格子状に組まれている。



断面図で基礎表示を求められた場合



立面図・断面図における1階屋根の輪郭

基準線のとりかたは各標準仕様書
屋根傾斜基準線は
水平基準線を
なお、丸図内



最高
軒高
窓上
窓下
2FL
窓上
窓下
1FL
▽GL

非公開

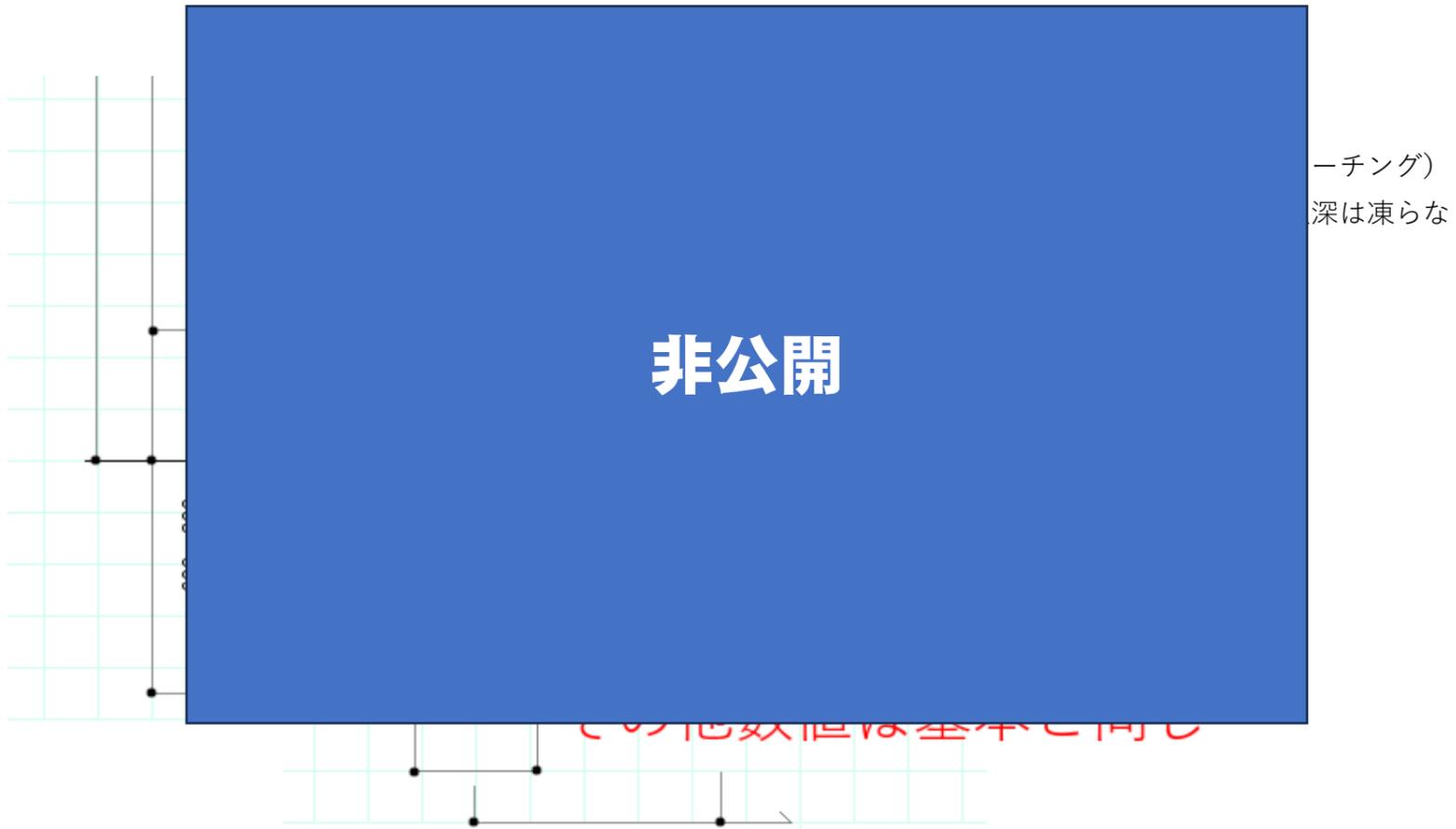


最高
軒高
窓上
窓下
2FL
窓上
窓下
1FL
▽GL

非公開

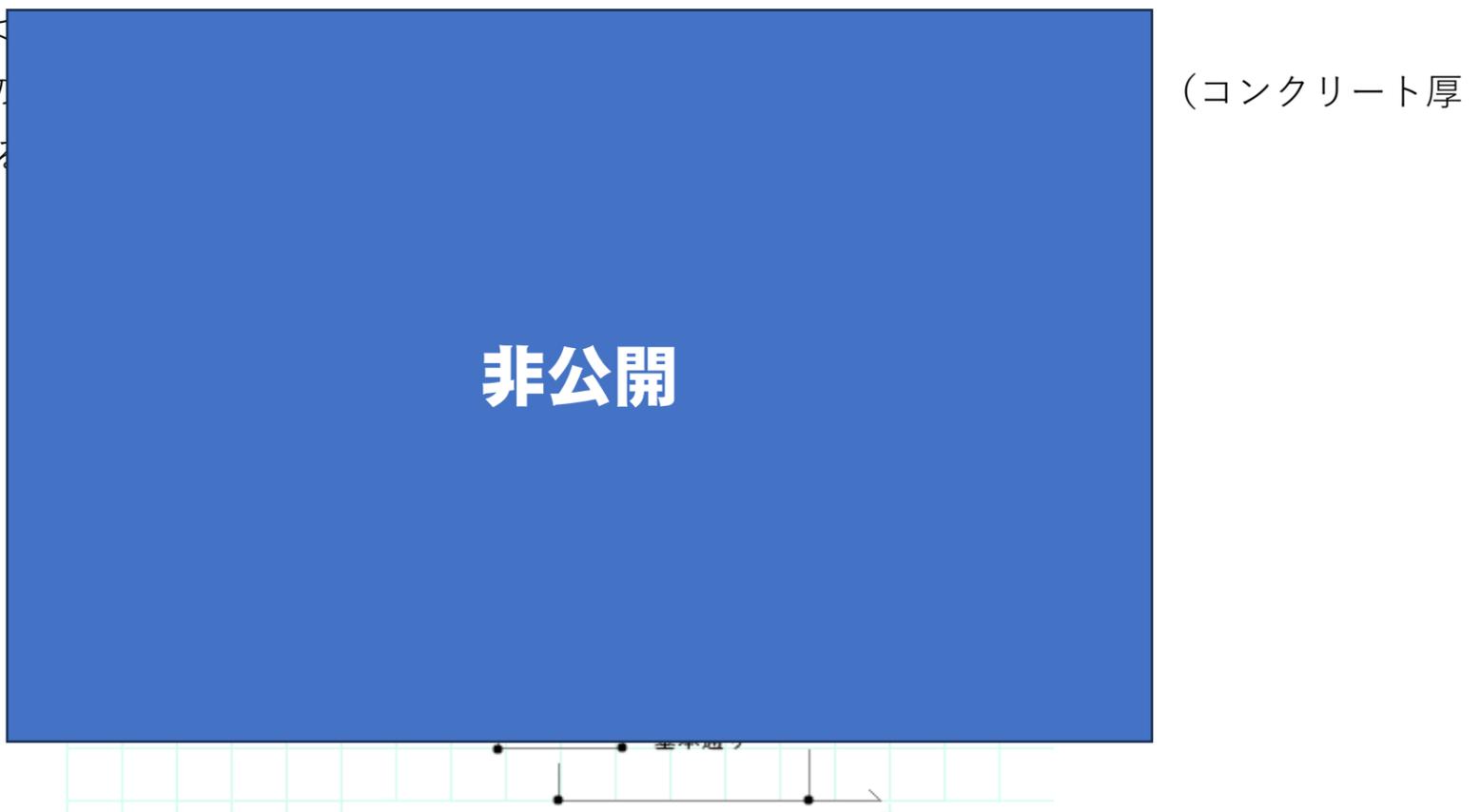
部分詳細図の知識

寒冷地の基礎を求められた場合



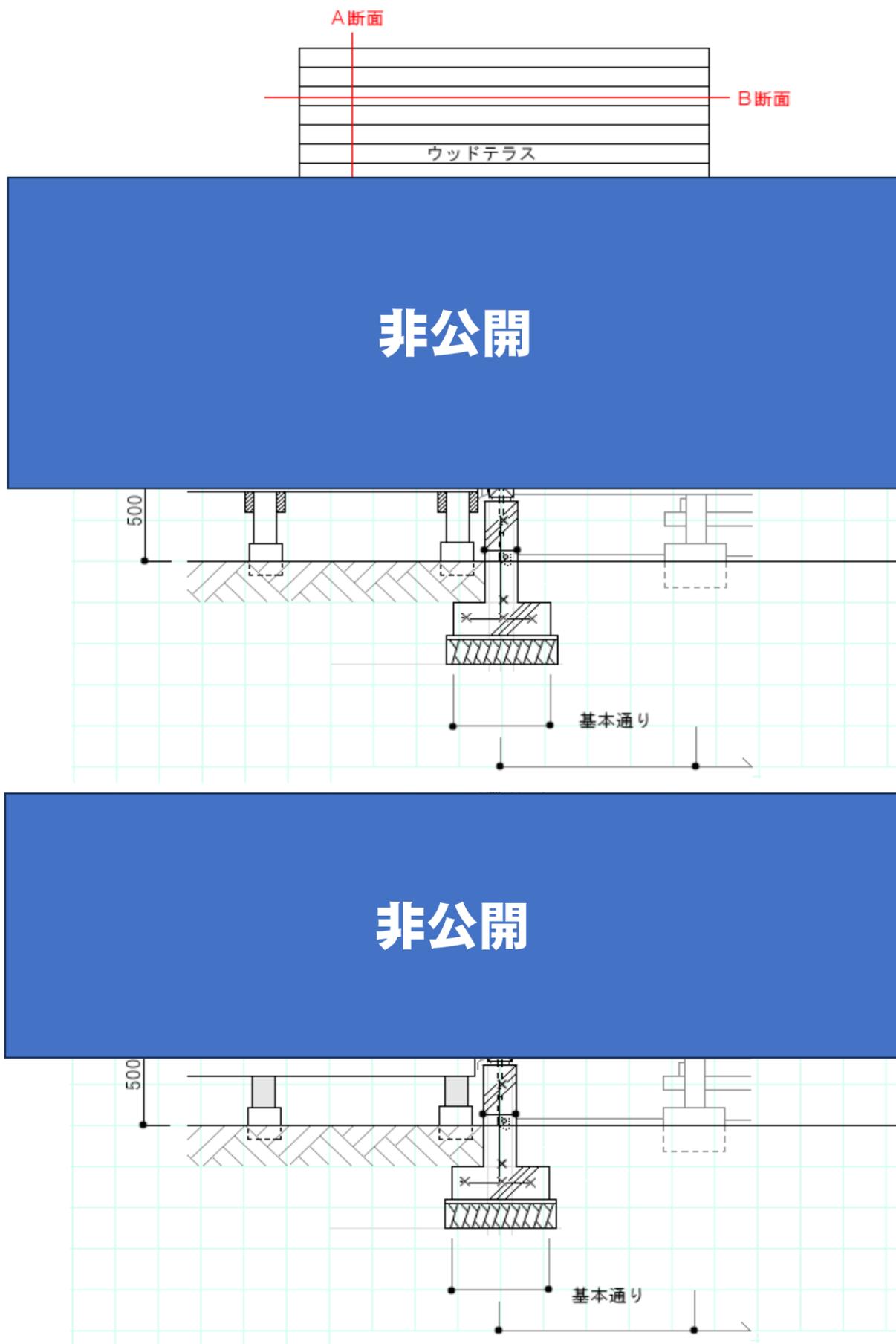
コンクリートテラス・ポーチの部分詳細図

外構側は下図のよ
状況により⑦10の
さ150を350にする

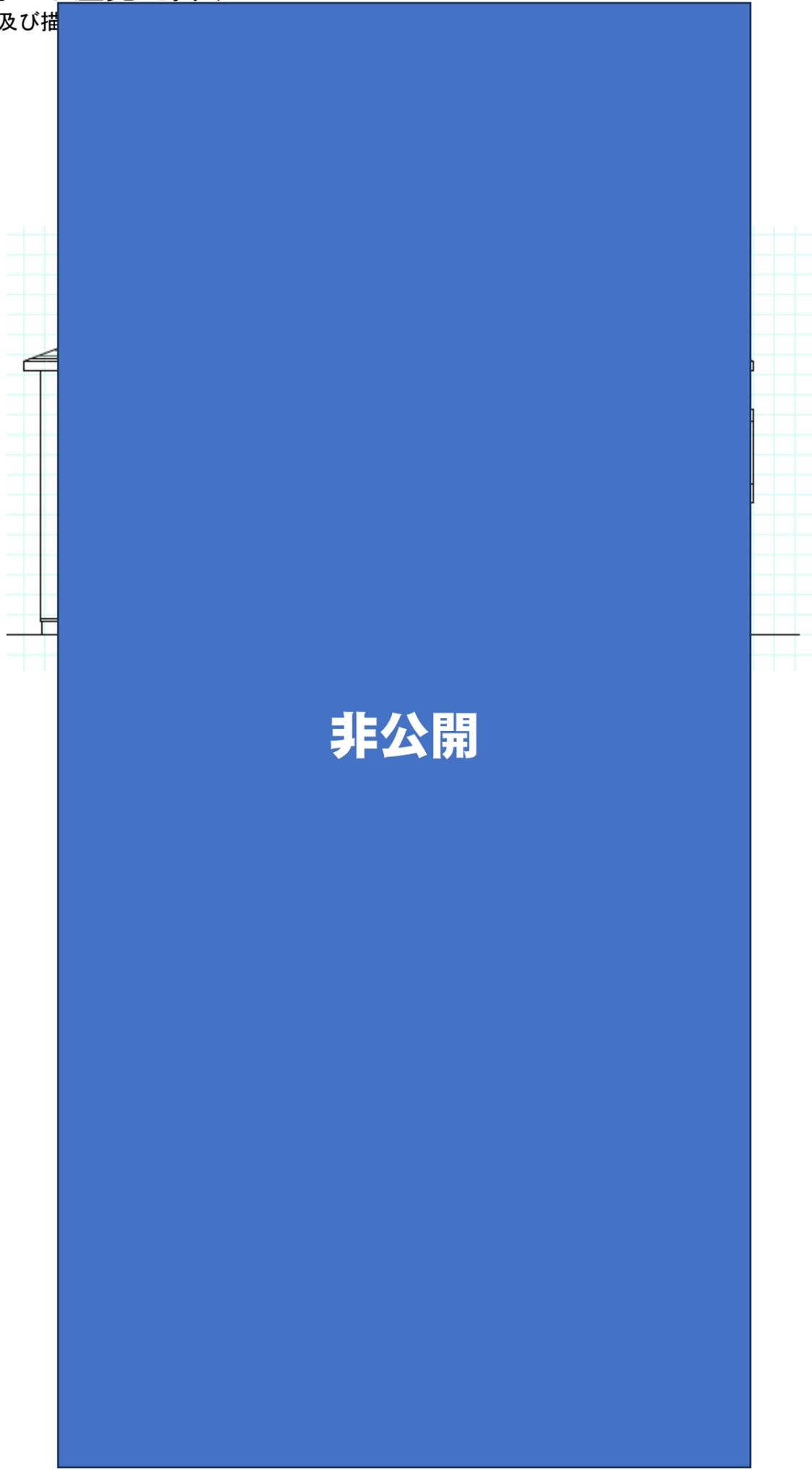


ウッドテラスの部分詳細図

A・Bそれぞれの断面により表現が変わります。



立面図、反対側の下屋見え掛り
上下端それぞれの高さ及び描



採光計画

境界から何マス離して建築物を計画したらいいか。事前にシミュレーションしておく。そして試験本番では感覚的に計画できるように練習しておこう。

境界線から建築物をどのくらい離せばいいか

採光計画のお話

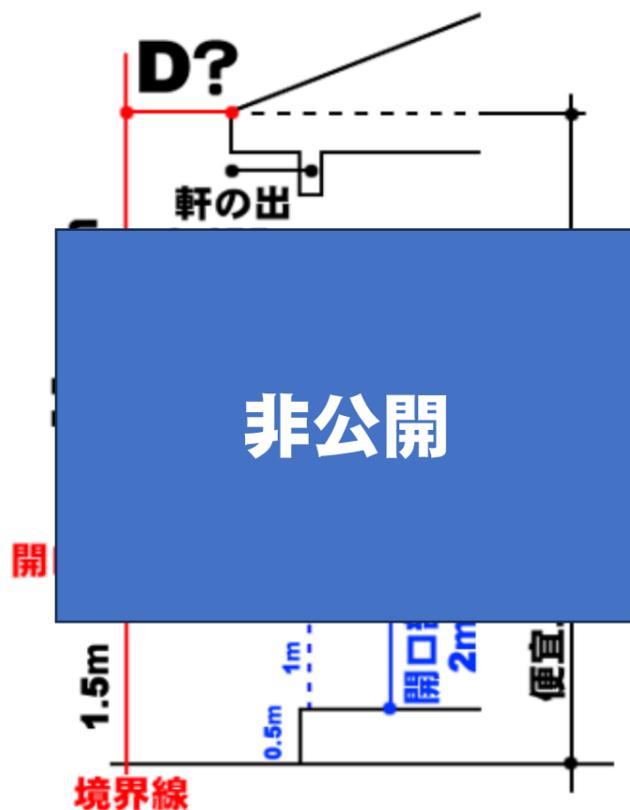
非公開

窓があればいいというわけではない。この式が成り立たなければならない

非公開

私たちが学習している建築パターンは右図のとおり
Dをどれだけ取ればよいのか迷うところだ。
制限が厳しい住居系で計算してみよう

製図必勝プロジェクトで学習している条件

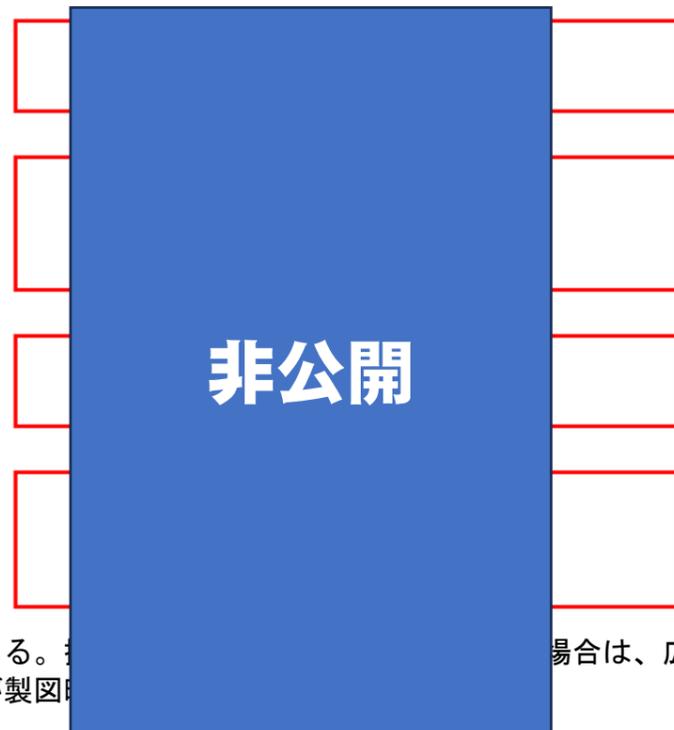


非公開

非公開

この部分を計算 = 3.79

試験では
これを計算するのではなく
体感として身につけてほしい



上記計算は開口部（窓）の数、軒の出、下屋かどうか等で変わってくる。また、開口部（窓）の向き（一般的には南側）方向または道路方向に向けて計画する。それが製図の場合、広い空